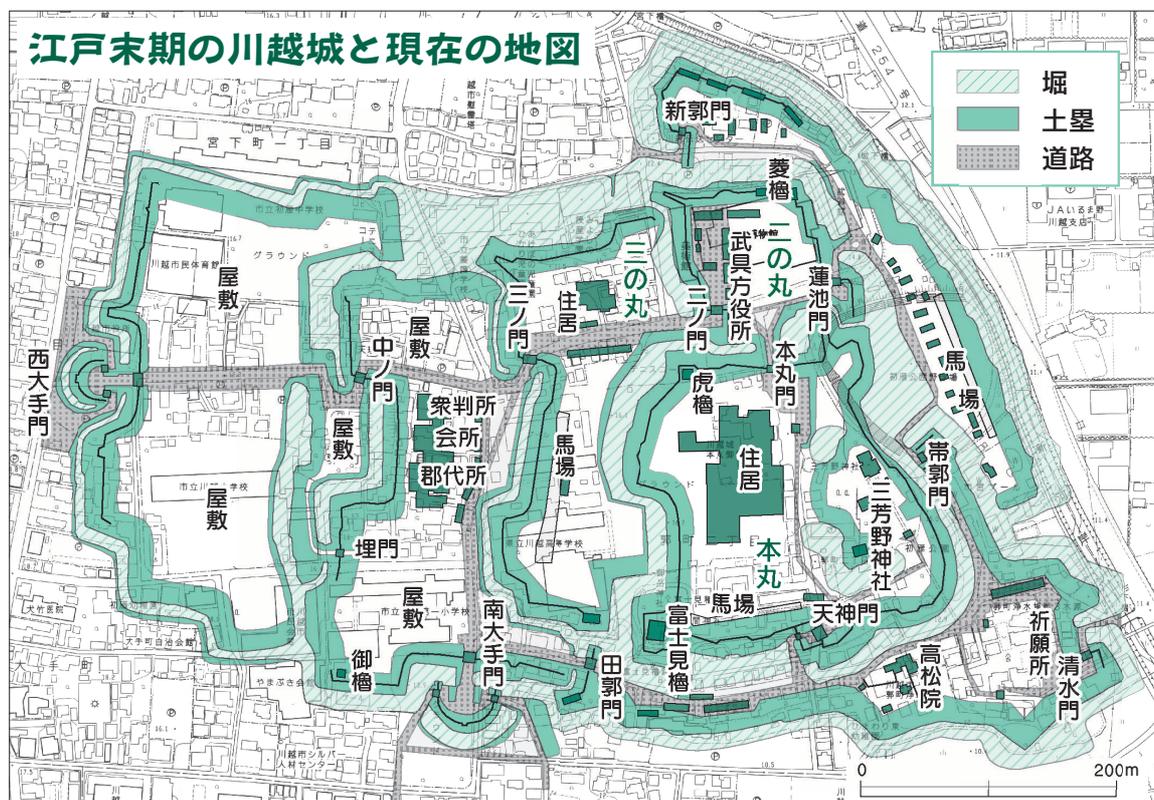


現在まで、そして未来へ

後北条氏の支配が終わると、川越城は酒井重忠が城主となり、江戸の北を守る要に位置づけられます。寛永十五

年（一六三八）には川越に大火があり、同十六年に城主となった松平信綱は城に大改築を加えます。信綱の改築によって完成した川越城は、本



丸・二の丸・三の丸を中心に二重の曲輪を構え、土塁・堀を巡らした大規模なものとなりました。なお、現存する本丸御殿は嘉永元年（一八四八）、当時の城主松平齊典によって建てられたものです。明治以降、川越城は建造物が解体・売却され、明治中期には、本丸御殿の一部と城門が残るのみとなりました。本丸御殿は明治五年に入間県庁、その後入間郡公会所になりました。大正七年から昭和七年までは煙草専売局淀橋支局川越分工場になり、三百人以上が働いていたそうです。昭和八年には川越地方武道奨励会の修練道場になり、名称も初雁武徳殿に変わります。戦後は、川越市立第二中学校（現在の初雁中学校）の校舎や屋内運動場として使用されました。数奇な運命をたどった本丸御殿も、昭和四十二年に県指定有形文化財に指定され、保存されています。本丸御殿は、川越城の数少ない遺構の一つです。この文化財を今後大切に保存し、歴史と伝統ある川越を後世に残していきたいと思います。

川越城築城550年記念事業

全国に2つしか現存していない本丸御殿の1つである川越城本丸御殿は、昭和42年に県の有形文化財に指定されています。昨年2月には、その歴史的・文化的価値が評価され「日本100名城」の1つに選ばれました。川越城が築城550年を迎えたことし、市ではさまざまな記念事業を行っています。



川越城築城550年

●現在行っている事業

- ・10月22日(月)まで、市立博物館で企画展「後北条氏と河越城」を開催中
- ・12月31日(月)まで、市役所前の太田道灌像・川越城本丸御殿のライトアップを実施中
- ・12月まで、毎月25日発行の広報川越「歴史を今に伝えて」で、川越城関連記事を連載中

●今後行われる事業（詳しくは、10月25日発行の広報川越でお知らせします）

- ・11月3日(祝)に「川越城主行列」を開催します。川越城築城から江戸時代までの歴代川越城主30人・旗持ち・奥女中など、総勢約100人による行列が一番街から川越城本丸御殿までを練り歩きます。また同日、(社)小江戸川越観光協会主催による「小江戸川越大茶会」を、本丸御殿など市内6か所の会場で開催します。
- ・12月1日(土)に、市内にある6つの獅子舞と姉妹都市・小浜市の雲浜獅子が共演する「獅子舞合同演舞会」を開催します。雲浜獅子は、江戸初期の川越城主・酒井忠勝が小浜へ国替えとなった際に、川越から随行した獅子舞の演技者が起源となり始まったと伝えられています。

川越城築城五百五十年記念シンポジウム

九月十六日、川越城築城五百五十年記念シンポジウムが、やまぶき会館で行われました。太田道灌十八代目子孫・太田資暁さんによる基調講演やシンポジウムなどが行われ、川越の歴史的・文化的魅力を再発見することができました。

基調講演 「太田道灌」 太田道灌十八代目子孫・太田資暁さん



ことしは道灌が亡くなって五十二年目。毎年伊勢原市の墓で供養をしています。中世の河越は地理的にも文化的にも重要な地点で、江戸は原野でした。江戸の神社・仏閣のいくつかは、河越から移したといわれています。当時河越の中心は河越館跡のある上戸周辺でしたが、この地では戦に勝てないという理由で、地形を利用してできる台地の端に築城しました。また道灌は、三十数回戦って生涯一度も負けたことがない、戦の名手でもありました。



多くの来場者で、満席となった会場



みづから作詞した「太田道灌」を歌う舟橋市長と、演舞する新藤間浩寿さん



川越少年少女合唱団の皆さんは、川越にちなんだ3曲の合唱を披露しました



桜コーラス・初雁女声コーラス・コーラスドレミファ草の皆さんは、美しいコーラスで会場を魅了しました

シンポジウム「川越城築城550年」



太田資暁さん

なぜ道灌は人気があるのか。道灌の人生は、現代社会に生きる私たちにも通じる所が多くあるからではないでしょうか。道灌を通じて、歴史に興味を持ってほしいですね。



越生町教育委員会教育課図書館・文化財担当主幹・石川久明さん

かつて交通の要衝だった越生は、川越に劣らず重要な拠点でした。また、道灌の父である道真が隠居生活を送った場所です。道灌のふるさととして、まちおこしを進めたいです。

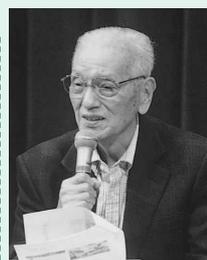


いせはら観光ボランティアガイド&ウォーク協会会長・三上利栄さん

生まれた場所から墓の場所まで、道灌には一つの事実に複数の説があります。それぞれ意見は違っても、私たちは道灌のファンです。みんな「道灌ファン学」を究めましょう。



太田道灌研究者・小宮正男さん



道灌が築城したといわれている岩槻城は、曲線を多く用いた芸術的な城でした。大きな改修もなく、築城当時の様子を絵図で確認できます。今後は、城を復元したいですね。

コーディネーター・川越市文化財保護審議会会長・小泉功さん

すばらしい知識をお持ちの皆さんが一堂に会して、道真・道灌の話ができることをうれしく思います。今後も発掘や研究を続けて、多くのことを明らかにしたいですね。